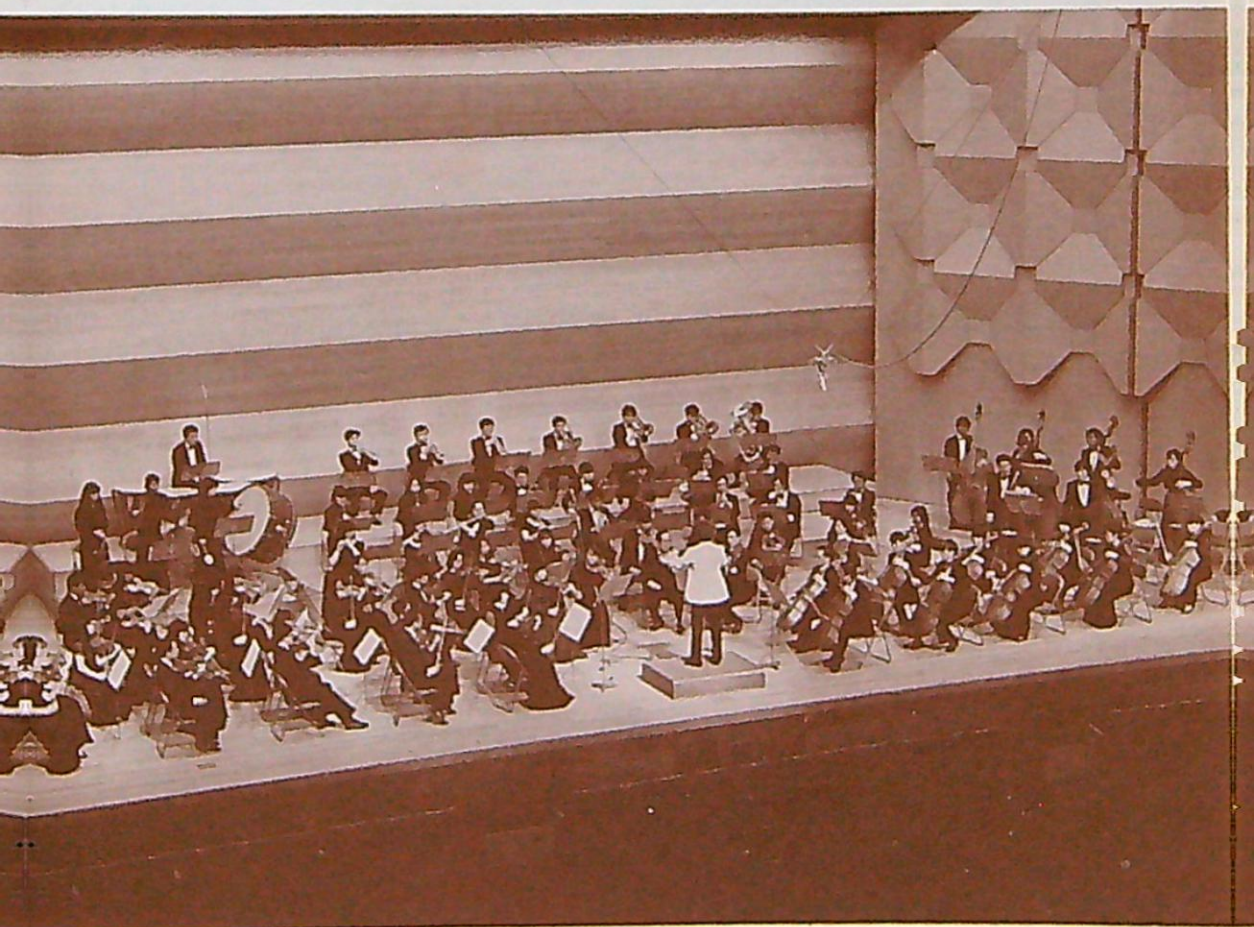




1990 ROTARY CONCERT

倉敷管弦楽団

特別演奏会



*3月10日(土) 坂出市民ホール

- 主催 坂出ロータリークラブ
- 後援 坂出市教育委員会

主催者からのメッセージ

ロータリーコンサートによくお越し下さいました。
坂出ロータリークラブは昭和29年に創立以来、青少年の健全育成の一助となるように各種の行事を主催して参りましたが、その一つのロータリーコンサートも今年で5回目を迎えました。今回は、昨年に続いてオーケストラに瀬戸大橋で堅く結ばれた倉敷市より倉敷管弦楽団をお迎え致しました。楽しい音楽会になるように楽器の紹介もしていただく予定です。どうぞ皆様美しい音楽の調べをお楽しみ下さい。

尚、今回の演奏会の開催に御協力をいただきました坂出市教育委員会の皆様に感謝致します。

坂出ロータリークラブ

会長 溝淵 芳 昭

オーケストラからのメッセージ

昨年に引続いて坂出ロータリークラブの皆様方の御好意により当地で演奏会を開かせて頂き、誠にありがとうございます。

今年はとても楽しい「こうもり序曲」と自然を歌った美しい2つの曲「春」、「田園」を演奏します。

今日の日をめざして我々一同、一生懸命練習して来ました。どうか最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

倉敷管弦楽団

団長 田 辺 幹 夫

プログラム

1. 喜歌劇「こうもり」序曲

R. シュトラウス

2. 合奏協奏曲「四季」より 春

ビバルディ

3. 交響曲第6番へ長調Op68「田園」

ベートーベン

曲目解説

オペレッタ「こうもり」序曲

オペレッタは喜歌劇とも訳され、普通のオペラよりやや軽い楽しい内容のものを言っています。

この曲は「美しく青きドナウ」、「ウィーンの森の物語」など数々のウイナワルツの作曲者として有名なヨハン・シュトラウス2世の作曲です。

オーストリアの貴族の家で開かれた仮装ダンスパーティに「こうもり」の姿をして出席した紳士が酔っぱらって失態を演じ、皆から笑われたので、後日かたきを討ってうさを晴らす、という物語ですが、オペレッタの幕が上がる前に演奏されるこの序曲は、これから始まる物語の内容をあらわしており、ウィーンの香りをふんだんに盛り込んだとても楽しい曲です。

「四季」より：春

ビバルディが春、夏、秋、冬と、名づけた4つの曲をまとめて「四季」と呼んでいます。今日はこの内の「春」を演奏します。

この曲はバイオリン独奏者と十数人の弦楽器奏者で演奏しますが、作曲者のビバルディ自身が楽譜に曲の内容を表す次のような短い詩を書き込んでいますので、これを読みながら曲を味わって下さい。

第1楽章……春が来た。小鳥達は楽しくうたい、春にあいさつを送る。春風の息吹きに泉の水はやさしくつぶやきながら流れる。にわかにかき曇り、雷と稲妻が春の来たことを告げるが、やがて嵐は過ぎ去り、再び小鳥達の歌が始まる。

第2楽章……沢山の草花が咲き乱れている牧場で木々の葉がざわめき、羊飼いが居眠りをしている。そばで忠実な番犬がじっと見張りをしている。

第3楽章……明るく澄みきった空の下にひなびた牧場の笛がこだまして、羊飼いやニンフが春を祝っておどる。

ベートーベン：交響曲第6番「田園」

ベートーベンは自然を非常に愛した人でした。この曲は田園に対するよろこびの感情を表したもので、各楽章のはじめにベートーベン自身が表題をつけています(第3、4、5楽章は切れ目なしに続けて演奏されます)。

第1楽章……田園に着いた時の楽しい気分
騒々しい都会、わずらわしい人間関係からはなれて、太陽の光が一ぱいの田園に着いた時のさわやかな楽しい気分を存分に歌っています。

第2楽章……小川のほとり
太陽の光を一ぱい浴びて小川のほとりの草むらに腰を下ろし、小川のせうらぎの音を聞くとともに静かに聞いています。曲の終り頃に小鳥達の声が聞えて来ます。

第3楽章……村の人達の楽しい集まり
何かのお祭りでしょうか、村の人達が広場に集まって楽しそうにおどっています。ひなびたおどりの音楽が次第に高揚して来ます。

第4楽章……雷と嵐
そこへ遠い雷の音。それはすぐにはげしい嵐になり、一とき天地を暗くして荒れ狂います。

第5楽章……牧歌、嵐の後の喜びと感謝
嵐はやがて過ぎ去り、再び太陽が輝きはじめます。帰って来た光と平和に対するよろこびと感謝の気持ちがこの上なく美しい旋律で歌われて曲は終わります。

解説 田 辺 幹 夫



指揮者

菊地 東
KIKUCHI TOU

プロフィール

昭和23年 玉島に生まれ 5歳の時よりバイオリンを始める。
在学中、広島大学室内合奏団の指揮者としてクラブ活動を続けるか
たわら、広島交響楽団の団員として活躍。

広島大学工学部卒業後 上京し 東京都民交響楽団のサブコンサ
ートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスターなど
を経験し昭和48年帰岡。昭和49年、仲間と共に倉敷室内管弦楽団、
(現倉敷管弦楽団)を創設以来、同楽団の常任指揮者として活躍、また
ヴァイオリン奏者として倉敷音楽協会、楽関の会などの演奏会でソ
室内楽の演奏活動も続けている。

また、平成元年度より玉島蔵のなかコンサートを企画し、4月に
は倉敷弦楽四重奏団演奏会、10月にはソプラノとのジョイントリサ
イタルを開催し好評を得る。

倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に、
昭和49年に設立された倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい
若さと熱気に満ちた楽団で、バロックから現代曲までの幅広いレパ
ートリーとし精力的に演奏活動を行っている。

毎年1回の定期演奏会のほかに岡山県内で活躍中の音楽家達との
共演、日頃オーケストラを聴く機会の少ない地域への演奏旅行等
を行なっている。

一昨年春の瀬戸大橋開通に際しては、これを記念して小六禮二郎氏
作曲の交響詩「瀬戸内賛歌」を初演した。平成元年、瀬戸大橋開通
1周年にあたり、橋の両端の坂出・倉敷両市の文化交流として初め
て県外での演奏会を坂出で開催いたしました。

昭和57年には、岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞
を受賞し、将来を大きく期待されている。

ロータリーとは

今から84年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れずさんでいたア
メリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP. ハリス
が、3人の友人と語らって2月23日、第1回の会合をひらいたのが、ロ
ータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで
順番に、集会を各自の事務所で行ったことから名付けられました。
このクラブは着実に成長し、現在167の国家および地域にひろめられ、ク
ラブ数24,533会員数1,081,470人に達し、さらに大きな発展を期待されて
おります。

わが国のロータリークラブは1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀
行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4
月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第
二次世界大戦のため、一時国際ロータリーから脱退するのをやむなきに至
ったこともありましたが、戦後国際ロータリーに復帰するや、益々発展
現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数1,865会員数111,899人に
達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力をつ
づけております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業
人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席に
よって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会
を得ようとはかっています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

協賛団体

アガワ呉服店	綾 菊 酒 造	綾 実 業
家常整形外科医院	石 垣 機 工	う つ ぼ や
鎌 田 醬 油	カヤノドレス	クスイシャツ
高照院天皇寺	五栄海陸興業	坂 井 印 刷
坂 出 土 建	坂 出 郵 船 組	坂 出 臨 港 倉 庫
サカエ設計事務所	四 国 精 機	四国ダンボール
四 国 電 力	四 国 銀 行	シーサイドゴルフパーク坂出
白 峰 寺	しんすい園	ステーキハウス千萬
太 陽 堂	高尾外科病院	武部歯科医院
多田羅陶器店	立 石 商 事	塚 田 木 材
津島外科医院	帝 国 被 服	東 亜 工 業 所
東 洋 物 産	中 村 土 木	日本制がん研究所
浜 崎 産 業	浜 崎 木 材	中 国 銀 行
原 電 気 商 会	1 1 4 銀 行	平 田 吉 俊 商 店
松尾産婦人科医院	峰 役 次 郎 商 店	横 井 石 油
横山税理士事務所	吉原食糧工業所	(50音順)